



エコアクション21  
認証・登録番号0004815

# エコアクション21 施設別環境活動レポート 2015

対象期間：2014.04～2015.03

# 目次

## 各施設環境活動報告

各施設での1年間（2014年4月～2015年3月）の活動をレポートにまとめました。

### 1. 指定管理者事業部

1-1.	サンメッセ香川	1
1-2.	アルファあなぶきホール	2
1-3.	高松テルサ	3
1-4.	マリンウェーブ	4
1-5.	香川県総合運動公園	5

### 2. SA&リゾート事業部

2-1.	津田の松原サービスエリア	6
2-2.	クアパーク津田・クアタラソさぬき津田	7
2-3.	アルファ津田カントリークラブ	8
2-4.	上板サービスエリア	9

### 3. ホテル事業部

3-1.	高松国際ホテル	10
3-2.	チサンイン高松	11
3-3.	ロイヤルパークホテル高松	12
3-4.	琴平パークホテル	13
3-5.	リーガホテルゼスト高松	14

### 4. 倉敷事業部

4-1.	旅館くらしき・倉敷珈琲館	15
------	--------------	----

### 5. 関連事業部・管理本部

5-1.	あなぶき家 庭瀬店	16
5-2.	ストアマネジメント課	17
5-3.	フーズケア課	18
5-4.	管理本部	19

環境目標項目	実績値評価 (原単位:利用者人数1人あたり)			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	環境目標項目	単位	④2013年度 (4月～3月)	⑤2014年度 (4月～3月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	1.074	1.084	0.01	CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	724,286	632,873	▲91,413
	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	電気使用量	(kWh)	1,139,780	1,024,658	▲115,122
				ガス使用量	(m <sup>3</sup> )	112,659	93,568	▲19,091
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減(食品廃棄物を除く)	52.2	67.1	14.9	排出量(a)-(b)	(t)	35.100	39.200	4.100
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	廃棄物排出量(a)	(t)	43.661	49.095	5.434
				リサイクル量(b)	(t)	8.561	9.895	1.334
3.食品リサイクル率の向上※1				排出量(c)-(d)	(t)			
				総排出量(c)	(t)			
				リサイクル量(d)	(t)			
4.節水による総排水量削減	6.848	6.575	▲0.273	総排水量	(m <sup>3</sup> )	4,618	3,839	▲779
5.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	4名	3名	75% (取得率100%)	6.スタッフ・お客様への啓発活動		・エコ活動の提案、実績報告会を毎月実施しています。 ・空調利用時の扉の開放注意を掲示しています。		
7.グリーン購入の実施	LED電球の使用促進:館内外、優先順位の高いものから順次切り替えを実施しています。 文房具:グリーン購入対象製品を出来る限り優先して購入しています。(購入金額:¥135,671)							

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO<sub>2</sub>)/kWh(四国電力)

※1:食品は取り扱っておりません。

### 【活動実績及びその評価】

前年度(2013年度)と比較して、CO<sub>2</sub>排出量及び総排水量は使用量の削減が達成出来ました。外気による館内温度の調整により、空調の運転時間削減による電気、ガス、上水の使用量削減の結果となりました。廃棄物排出量は、可燃ごみを中心に増加となりました。(大相撲開催による自社排出量の増加等)

#### 《省エネルギー化推進によるCO<sub>2</sub>排出量削減活動について》

- ☆ 館内照明、駐車場街灯の一部をLED照明に切り替えました。(2015年3月)
- ☆ 外気を利用する事により、可能な限り空調の運転を停止しました。(電気、ガス、上水の削減)

#### 《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

- ☆ リサイクル可能な物(トナー、シュレッダー、プルタブ、キャップ等)は、すべて回収しています。
- ☆ パブリックスペースの排出量削減については、主催者、利用者への協力依頼を行っています。

#### 《食品リサイクル率の向上について》

- ☆ 食品リサイクルには該当していませんが、レストラン(館内委託先)に発注している弁当の食べ残しが出ない様、量と質の調整を随時して頂くよう協力をお願いしております。

#### 《節水による総排水量削減について》

- ☆ 従業員及び協力会社において巡回時に、手洗い水栓・洗浄器具の漏水や器具に不備が無いか確認を行っています。
- ☆ ご来館者に節水へのご協力をお願いするための「ご案内表示」を館内各所に掲示しています。

#### 《スタッフ、お客様への啓発活動について》

- ☆ 毎月、課員からエコ活動の提案を募り月毎に活動内容を決めて取り組んでいます。
- ☆ ドリンクサービス時に、ペットボトルのキャップを回収するため専用のボックスを備え付けています。

#### 《グリーン購入の実施について》

- ☆ 文房具は、グリーン購入対象製品を出来る限り優先して購入しました。(購入金額:¥135,671)

### 【次年度の取組内容について】

- ☆ 館内における照明のLED化を進めてまいります。
- ☆ 日々の取り組みを継続しつつ改善可能な点(照明点灯時間、空調温度、ペーパーレス化等)を見直します。
- ☆ エコ検定試験、環境研修やセミナー、勉強会等参加による従業員の知識向上を行います。

以上

環境目標項目	実績値評価 (原単位: 利用者人数1人あたり)			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	環境目標項目	単位	④2013年度 (4月～3月)	⑤2014年度 (4月～3月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	3.045	2.721	▲0.324	CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	1,365,906	1,341,328	▲24,578
	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	電気使用量	(kWh)	2,926,638	2,945,127	18,489
				ガス使用量	(m <sup>3</sup> )	76,127	62,130	▲13,997
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	34.3	15.1	▲23.4	排出量((a)-(b))	(t)	5.879	7.438	1.559
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	廃棄物排出量(a)	(t)	11.121	12.801	1.68
				リサイクル量(b)	(t)	5.242	5.363	0.121
3.食品リサイクル率の向上※1	100%	100%	100%	排出量((c)-(d))	(t)	0.521	0	▲0.521
				総排出量(c)	(t)	4.784	2.155	▲2.629
				リサイクル量(d)	(t)	4.263	2.155	▲2.108
4.節水による総排水量削減	31.700	13.554	▲18.146	総排水量	(m <sup>3</sup> )	12,208	6,682	▲5,526
5.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	3名	1名	33.3%	6.スタッフ・お客様への啓発活動		・毎月、施設管理業者との定例会を開催し、職員へ議事録を回覧しています。 ・館内各所の表示によるお客様へのご協力依頼の実施。		
7.グリーン購入の実施	LED電球の使用促進: 交換可能箇所は全てLED電球へ交換済み。 文房具: 可能な限りグリーン購入対象商品を購入。							

※購入電力の二酸化炭素排出係数: 0.407(kg-CO<sub>2</sub>)/kWh(四国電力)

※1: 食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。

### 【活動実績及びその評価】

前年度と比較し、利用者数、施設利用が共に大幅増加したため、電気使用量、廃棄物排出量は増加しました。しかし、原単位では、環境目標項目1番～4番までの目標を達成することができました。

お客様への啓発活動として、映画「ガイアシンフォニー 第6番」上映会を実施しました。(2015.3.1)

#### 《省エネルギー化推進によるCO<sub>2</sub>排出量削減活動について》

☆ 8月6日～10月10日の期間で、小ホール棟にある2基のエレベーターの内、1基のみを稼働させる事で、電力の削減に繋がりました。

☆ 夜間、従業員による館内の見廻りを昨年より継続して実施しており、トイレ等の不要照明の消灯につとめました。

#### 《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆ 施設利用者に対してごみ袋を販売する際に、可燃物専用、不燃物専用を分けて販売しており、利用者にも分別のご協力をいただいております。

☆ プリンターカートリッジの100%リサイクル回収を実施しています。

#### 《食品リサイクル率の向上について》

☆ レストラン・宴会で発生するゴミを分別、回収業者にもご協力をいただき、食品リサイクル率100%を達成しました。

☆ 廃食用油のリサイクルに取り組んでいます。

#### 《節水による総排水量削減について》

☆ 館内の配水を減圧し、節水に繋がっています。

☆ 啓発表示を以前より大きくし、お客様の目に留まりやすいようにしました。

#### 《スタッフ、お客様への啓発活動について》

☆ 「ガイアシンフォニー 第6番」上映会開催時にロビー展示も行い、身近にできるエコ活動をお客様へご紹介しました。

☆ 館内各所に啓発表示、啓発ポスターを掲示しています。

#### 《グリーン購入の実施について》

☆ 可能な限り、グリーン購入対象商品を購入しています。

#### 【次年度の取組内容について】

☆ エコ検定3名が受験します、合格率100%を目指します。

☆ 従業員による館内巡回の意識を更に強化し、不要照明、不要排水の削減に取り組みます。

☆ 今年度は、「ガイアシンフォニー 第6番」上映会を開催しましたが、次年度も環境活動をテーマにしたイベントを実施します。

以上

# 1-3.高松テルサ

【運用期間:2014年4月~2015年3月】

環境目標項目	実績値評価 (原単位:利用者人数1人あたり)			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	環境目標項目	単位	④2013年度 (4月~3月)	⑤2014年度 (4月~3月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	1.710	1.949	0.239	CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	812,313	750,971	▲61,342
	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	電気使用量	(kWh)	1,419,223	1,356,346	▲62,877
				ガス使用量	(m <sup>3</sup> )	101,310	85,965	▲15,345
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	14.0	7.3	▲6.7	排出量((a)-(b))	(t)	3.872	2.823	▲1.049
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	廃棄物排出量(a)	(t)	6.923	5.795	▲1.128
				リサイクル量(b)	(t)	3.051	2.972	▲0.079
3.食品リサイクル率の向上※1	100%	100%	100%	排出量((c)-(d))	(t)	0	0	0
				総排出量(c)	(t)	2.286	2.033	▲0.253
				リサイクル量(d)	(t)	2.286	2.033	▲0.253
4.節水による総排水量削減	19.000	18.235	▲0.765	総排水量	(m <sup>3</sup> )	7,384	7,025	▲359
5.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	4名	3名	75%	6.スタッフ・お客様への啓発活動	・屋礼などでのスタッフへの呼びかけの実施 ・館内に表示をすることでお客様へアピールする			
7.グリーン購入の実施	LED電球の使用促進:ロビー部分に引き続き、会議室部分のLED化を促進する 文房具:グリーン購入適合商品をなるべく購入する							

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO<sub>2</sub>)/kWh(四国電力)

※1:食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。

## 【活動実績及びその評価】

7月21日~8月31日までの間、小・中学生を対象にクールシェアを行いました。(2014年度:158名、2013年度:143名)ワンコイン体験会の収益及び皆様から寄せられた『緑の募金』は2015年3月16日に寄付し(¥50,471)、地域学校・社会福祉施設の環境緑化や緑の再生事業に寄与しました。また、利用頻度の高い会場である大会議室・視聴覚室をLED化し、電力量を削減しました。

### 《省エネルギー化推進によるCO<sub>2</sub>排出量削減活動について》

- ☆ 各会場の利用終了後、速やかに空調を切り、節電に努めましたが、来場者の増加に伴い、計画未達となりました。
- ☆ 「グリーンカーテン」を実施し、館内フロアの空調の温度を25℃から27.5℃に変更し、電力量削減に繋がりました。

### 《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

- ☆ ペットボトルのキャップを回収しています。2014年度は11,773個と毎年増加しています。(2013年度 11,446個)
- ☆ 缶飲料のプルタブ回収も定着し、継続して高松市立屋島小学校に寄付し、車いす購入の一部になっています。

### 《食品リサイクル率の向上について》

- ☆ レストランでの排出ゴミの分別を徹底し、食品リサイクル率100%を保っています。
- ☆ 産業廃棄物(廃食用油)の回収を協力会社に依頼し、リサイクルに取り組んでいます。



### 《節水による総排水量削減について》

- ☆ 館内に節水シールを貼付することにより、お客様への節水の協力依頼を呼びかけています。
- ☆ 館内を巡回することにより、水道から漏水や器具等に不備がないか確認を行っています。



### 《スタッフ、お客様への啓発活動について》

- ☆ クールビズ・ウォームビズ取組ポスターを館内に掲出し、必要に応じてブランケットの貸出を行っています。
- ☆ 身近なことで環境へ配慮できる事柄を取り上げた「エコマガジン」をスタッフに対し情報発信し、より環境活動に対する意識を向上させました。

### 《グリーン購入の実施について》

- ☆ 事務所でよく使うコピー用紙・文房具などを可能な範囲でグリーン購入に適合した商品を選択しました。

### 【次年度の取組内容について】

- ☆ 館内の会議室LED化をさらに推進し、電力量の削減に努めます。
- ☆ 稼働状況に応じたこまめな温度管理や照明の調整を行うなど省エネルギーの徹底を行い、CO<sub>2</sub>排出量削減、省資源、廃棄物削減などの活動を積極的に取り組んでまいります。
- ☆ 地域の公共施設として、引き続き環境活動に即した情報提供・イベント等を行ってまいります。

以上

# 1-4.三豊市文化会館マリンウェーブ

【運用期間:2014年4月~2015年3月】

環境目標項目	実績値評価 (原単位:利用者人数1人あたり)			昨年度との実績値比較				
	①目標値※2	②実績値	③評価 (②-①)	環境目標項目	単位	⑤2013年度 (1月~3月)※2	⑤2014年度 (4月~3月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	2.200 (kg-CO <sub>2</sub> )/人	2.025 (kg-CO <sub>2</sub> )/人	▲0.175 (kg-CO <sub>2</sub> )/人	CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	43,708	191,773	-
				電気使用量	(kWh)	82,830	360,410	-
				灯油使用量	(L)	4,000	16,300	-
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	16.0 (g)/人	22.5 (g)/人	6.5 (g)/人	排出量((a)-(b))	(t)	0.540	2.132	-
				廃棄物排出量(a)	(t)	0.677	2.758	-
				リサイクル量(b)	(t)	0.137	0.626	-
3.食品リサイクル率の向上※1	/	/	/	排出量((c)-(d))	(t)	/	/	/
				総排出量(c)	(t)	/	/	/
				リサイクル量(d)	(t)	/	/	/
4.節水による総排水量削減	0.008 (ℓ)/人	7.100 (ℓ)/人	7.092 (ℓ)/人	総排水量	(m <sup>3</sup> )	156	674	-
5.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	4名	4名	100%	6.スタッフ・お客様への啓発活動		・月に一度、勉強会を開催 ・節水、節電の掲示		
7.グリーン購入の実施	LED電球の使用促進:順次工事を行っている。 文房具:購入元を一つにして、グリーン購入を行い安くした。							

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO<sub>2</sub>)/kWh(四国電力) ※1:食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。  
※2:活動開始が2013年12月からの為、昨年度との比較はしていません。

## 【活動実績及びその評価】

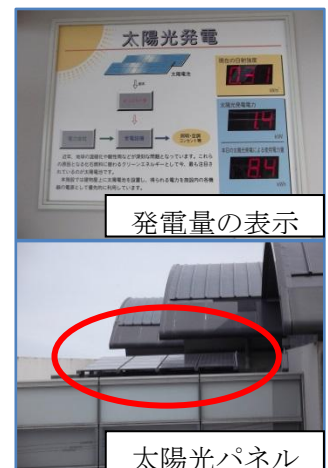
エコアクション21を開始しました。既にエコアクション21を長年行っている他施設を参考に、試験的なものも含めたエコ活動を行っていききました。

活動報告レポートの冊子を用意し、お客様にエコアクション21活動を何時でもご覧頂けるようにしています。

また、月に一度ですが従業員内での会議を行い、エコ活動について勉強会を開きました。初年度であり、データの習得を行う一年でもありました。その為、数値が正確ではない部分もありますが、来年度、再来年度と続けて行くことで、より正確な変化を算出して行きます。

### 《省エネルギー化推進によるCO<sub>2</sub>排出量削減活動について》

- ☆ 夏のエアコン利用率を下げるため、グリーンカーテンを作りました。初めてなので規模は小さくなりましたが、次年度以降に向けてノウハウを蓄えられました。
- ☆ 節電の掲示をしました。お客様に向けてご協力、ご理解をお願いしていきます。
- ☆ 太陽光パネルの発電量を表示しています。当館が行っている太陽光発電を一目で確認出来ます。
- ☆ 事務所内に電気使用量と水道使用量を張り出し、従業員がエコ意識を常に保てるようにしました。



発電量の表示

太陽光パネル

### 《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

- ☆ エコキャップ収集用のボックスを置き、お客様にご協力をお願いしています。

### 《節水による総排水量削減について》

- ☆ 節水のご協力、ご案内を促す掲示を各所に置いています。当館は主婦層のご利用が多いので、家庭でも使える豆知識を添えました。

### 《スタッフ、お客様への啓発活動について》

- ☆ 環境パネル展を行いました。お客様にエコ活動への関心を深めて貰う事、当館がエコ活動を行っている事の両方を更に周知して頂きたいと開催しました。(3/6~3/20)

### 《グリーン購入の実施について》

- ☆ コピー用紙を全てエコマーク製品に切り替えました。

### 【次年度の取組内容について】

- ☆ 更なるエコ活動推進の為、他施設の良い部分を取り入れる水平展開に努めます。
- ☆ 館内照明のよく使う部分をLED化する事により、電気使用量の抑制を測ります。
- ☆ 地域や他施設と協力して、エコユニット活動を行っていきます。
- ☆ 音楽ホールである事を利用したエコイベントを行います。



エコキャップ収集用ボックス



エコ環境パネル展

以上

環境目標項目	実績値評価 (原単位:利用者人数1人あたり)			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	環境目標項目	単位	④2013年度 (4月~3月)	⑤2014年度 (4月~3月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	1.623	1.427	▲0.196	CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	179,457	173,473	▲5,984
	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	電気使用量	(kWh)	419,160	403,896	▲15,264
				ガス使用量	(kg)	1,139	787	▲352
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	1.0	1.0	▲0	排出量((a)-(b))	(t)	-	※2 0.118	-
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	廃棄物排出量(a)	(t)	-	0.118	-
				リサイクル量(b)	(t)	-	0	-
3.食品リサイクル率の向上※1				排出量((c)-(d))	(t)			
				総排出量(c)	(t)			
				リサイクル量(d)	(t)			
4.節水による総排水量削減	139,870	132,516	▲7,354	総排水量	(m <sup>3</sup> )	15,374	16,104	730
5.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	施設内の該当者は、全員取得済			6.スタッフ・お客様への啓発活動	・各施設ミーティングでの周知・啓発活動 ・各施設の表示によるお客様へのご協力依頼の実施			
7.グリーン購入の実施	文房具:グリーンマークやエコマークの付いた商品を極力購入							

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO<sub>2</sub>)/kWh(四国電力) ※1:※ 食品は取り扱っておりません。

※2:廃棄物排出量の管理開始は、2014年度6月からとなりますので、昨年比増減はありません。

### 【活動実績及びその評価】

昨年より運用を開始した為、廃棄物排出量データが通期で取れていませんが、概ね良好に運営出来たと判断しています。総排水量は、配管の老朽化により、漏水が2か所で発生し、増加したと考えられます。初年度ということで、今期データを基に、設定目標値の検証も実施し、来年の活動につなげていきます。

### 《省エネルギー化推進によるCO<sub>2</sub>排出量削減活動について》

- ☆ 高校野球四国大会時は、照明を全点灯するので、電力量を抑える為に発電機を設置し、削減に繋がりました。
- ☆ 各施設に光熱費使用量を掲示し、『見える化』で削減を意識しました。



### 《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

- ☆ エコキャップ・・・回収業者に送付、リサイクルし、環境保護と再資源化につなげています。
- ☆ ペットボトル&空き缶・・・ベンダー会社に回収依頼し、リサイクルしています。
- ☆ チップ化・・・リユース推進の一環として、剪定で発生した枝葉を粉碎処理し、チップ化して植込みに敷き均し、再利用しました。剪定枝のチップは土壌改良材としてだけでなく、カブト虫の産卵場所となり、成虫を育てる寝床に適していることから、運動公園ではカブト虫を育て、イベント等で配布予定にしています。また、出来た腐葉土は、園内の花壇で使用しています。

### 《節水による総排水量削減について》

- ☆ 各所への啓発表示を実施しております。
- ☆ 芝・植栽への散水は中水を利用し、削減に努めました。

### 【次年度の取組内容について】

- ☆ 照明器具のLED化を推進し、必要箇所には積極的に導入していきます。
- ☆ 飼育したカブト虫をイベント等で配布予定にしています。
- ☆ 管理事務所で夏の節電対策に向けてグリーンカーテンを実施します。
- ☆ 引き続きエコキャップ回収活動を行っていきます。



↑ 枝葉を粉碎処理する様子



↑ チップを敷いた植込み



↑ カブト虫の産卵場所



↑ 園内の花壇

以上

## 2-1.津田の松原サービスエリア

【運用期間:2014年4月～2015年3月】

環境目標項目	実績値評価 (原単位:利用者人数1人あたり)			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	環境目標項目	単位	④2013年度 (4月～3月)	⑤2014年度 (4月～3月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	0.602	0.629	0.027	CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	708,355	670,299	▲38,056
	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	電気使用量	(kWh)	1,271,361	1,199,483	▲71,878
				ガス使用量	(m <sup>3</sup> )	29,392	27,997	▲1,395
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	38.0	21.1	▲16.9	排出量((a)-(b))	(t)	26.914	22.523	▲4.391
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	廃棄物排出量(a)	(t)	65.600	59.795	▲5.805
				リサイクル量(b)	(t)	38.686	37.272	▲1.414
3.食品リサイクル率の向上※1	30.50%	100%	69.50%	排出量((c)-(d))	(t)	4.653	0	▲4.653
				総排出量(c)	(t)	45.166	43.213	▲1.953
				リサイクル量(d)	(t)	40.513	43.213	▲2.700
4.節水による総排水量削減	12.000	12.224	0.224	総排水量	(m <sup>3</sup> )	13,662	13,030	▲632
5.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	4名	1名	25%	6.スタッフ・お客様への啓発活動	・朝礼時の周知・啓発 ・部署ミーティングでの周知・啓発			
7.グリーン購入の実施	文房具:グリーンマーク対象製品の購入(本年度実績 129,697円)							

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO<sub>2</sub>)/kWh(四国電力)

※1:食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。

### 《活動実績及びその評価》

☆ エコ検定の合格者数は目標に対して25%という結果となりました。

(7月4名受験 1名合格 12月1名受験 合格者なし)

☆ 今期中(6月1日)より「すき家」、「えび伝」にも通知しゴミの分別回収を強化した。排出時に重さを記入する記録用紙にも生ゴミ、ビニール、紙ゴミ、ビン等、記入枠のあるものにし分別の意識付けが出来た。

### 《省エネルギー化推進によるCO<sub>2</sub>排出量削減活動について》

☆ トイレ、休憩室、事務所不在時の照明スイッチ OFF の徹底、啓発活動により意識付け。

☆ 期間によりフロア空調を停止し電気使用量の削減ができた。

☆ 昨年からも継続しておりますが、ガス機器も状況により1台停止し使用量削減に努めます。

☆ 前年対比の光熱費をグラフで掲示しての意識付けができています。

### 《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆ 割り箸リサイクル 1,770 kg→BOX テッシュ、エコキャップ<sup>®</sup>回収運動 414 kg→ポリオクチン今後も継続。

☆ スナックコーナーでは割り箸orプラスチック箸でお客様へご案内したが、割り箸を使用するお客様が多かった。

☆ ダンボールは協力会社に買い取りによる回収。今後も継続

### 《食品リサイクル率の向上について》

☆ ゴミ排出の記録用紙に各排出ゴミ記入枠にしたことでリサイクル率の向上に繋がりました。

### 《節水による総排水量削減について》

☆ 日々開店前、閉店後の水道メーターの数値を確認。

### 《スタッフ、お客様への啓発活動について》

☆ 上下線フロアに「エコアクション 21」への取り組み、冷暖房の設定温度を掲示しています。

### 《グリーン購入の実施について》

☆ 通常購入の物品については、エコマーク製品の購入に努めました。

### 《次年度の取組内容について》

☆ エコ検定の合格率は、継続して100%を目指します。(13名中7名合格 合格率53.8%)

☆ 物品購入の際は優先的にエコマーク製品を購入します。

☆ 昨年は上り線にてグリーンカーテンを実施しましたが本年度も継続します。

☆ 食品廃棄物の削減実施。※下り線にてコンポストの活用の継続



以上



環境目標項目	実績値評価 (原単位:利用者人数1人あたり)			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	環境目標項目	単位	④2013年度 (4月～3月)	⑤2014年度 (4月～3月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	7.392 (kg-CO <sub>2</sub> )/人	7.755 (kg-CO <sub>2</sub> )/人	0.363 (kg-CO <sub>2</sub> )/人	CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	988,599	931,648	▲56,951
				電気使用量	(kWh)	1,087,834	1,045,817	▲42,017
				ガス使用量	(m <sup>3</sup> )	77,061	70,846	▲6,215
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	83.0 (g)/人	115.2 (g)/人	32.2 (g)/人	排出量(a)-(b)	(t)	16.253	13.845	▲2.408
				廃棄物排出量(a)	(t)	20.521	18.248	▲2.273
				リサイクル量(b)	(t)	4.268	4.403	▲0.135
3.食品リサイクル率の向上※1	51.0%	100%	▲49.0%	排出量(c)-(d)	(t)	0	0	0
				総排出量(c)	(t)	5.673	6.576	0.903
				リサイクル量(d)	(t)	5.673	6.576	0.903
4.節水による総排水量削減	344.000 (ℓ)/人	259.410 (ℓ)/人	▲84.590 (ℓ)/人	総排水量	(m <sup>3</sup> )	38,549	31,165	▲7,384
5.eco 検定合格(受験)による環境意識の向上	4名	2名	50%	6.スタッフ・お客様への啓発活動		・スタッフへ現行のエコ活動の確認と徹底。 ・スタッフからエコに繋がる案が出るよう促進。 ・タオル使用料削減の呼びかけ。		
7.グリーン購入の実施	LED電球の使用促進:外灯8灯をLEDに変更。 文房具:グリーンマーク対象品の購入を継続。							

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO<sub>2</sub>)/kWh(四国電力)

※1:食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。

【活動実績及びその評価】

食品リサイクル増の要因・・・宴会・レストランの食べ残り残量増加、宴会場での生ゴミの水切り不十分。  
水光熱の削減・・・電気使用量は両館とも昨年実績を下回っている。特に、クアタラソのガス使用量においては、保温シートカバーをかけたの保温箇所の増加、湯沸しを実施。少ないエネルギーで効率よく燃焼できた。  
クアタラソ:【ガス】64,840(前年 70,939)m<sup>3</sup> 【水道】7,658(前年 8,054)m<sup>3</sup> 【電気】487,426(前年 506,629)kwh  
クアパーク:【重油】20,590(前年 20,550)L【ガス】6,012(前年 5,782)m<sup>3</sup> 【水道】11,254(前年 11,223)m<sup>3</sup>  
【電気】558,391(前年 579,554)kwh

《省エネルギー化推進によるCO<sub>2</sub>排出量削減活動について》

- ☆ グリーンカーテン拡大。写真①タラソ
- ☆ 一階廊下部分、ブラインド設置。写真②パーク
- ☆ 電気・ボイラー・空調の消灯係を決めた。夜間、フロアの電気の消灯数を増加、一覧表を作成。写真③パーク



《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

- ☆ 新にプラスチックと発泡スチロールを分別して廃棄処理。パークタラソ

《食品リサイクル率の向上について》

- ☆ 宴会の打ち合わせの際に、男女比・年齢等を確認し、極力食べ残しが出ない様料理に配慮した。パーク

《節水による総排水量削減について》

- ☆ 音姫を購入し設置。(1階女子トイレ)写真④パーク
- ☆ プールの使用水を井水上水混合から、井水のみへタラソ



《スタッフ、お客様への啓発活動について》

- ☆ 一般利用のお客様に対して、マイタオル持参運動の推進。2014年度自主目標 1,000件に対し実績 810件 写真⑥タラソ

《グリーン購入の実施について》

- ☆ 徹底して継続中。パークタラソ

【次年度の取組内容について】

- ☆ パーク玄関周りの花壇の設置とタラソのグリーンカーテンの拡大。電球のLED化促進、更新検討。パークタラソ
- ☆ ガスボイラーの保守契約検討(空気調整及び配管のチェック)。タラソ
- ☆ パーク客室のお風呂にてエコ水位テープを貼り、お客様へも啓蒙活動を展開予定。パーク
- ☆ エコ検定4名(パーク3名、タラソ1名)受験、合格 100%を目標!パークタラソ



以上

## 2-3. アルファ津田カントリークラブ

【運用期間: 2014年4月～2015年3月】

環境目標項目	実績値評価 (原単位: 利用者人数1人あたり)			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	環境目標項目	単位	④2013年度 (4月～3月)	⑤2014年度 (4月～3月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1. 省エネルギー化推進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	7.660	8.068	0.408	CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	253,766	266,521	12,755
	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	電気使用量	(kWh)	288,385	284,748	▲3,637
				ガス使用量	(m <sup>3</sup> )	4,773	4,492	▲281
2. 分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	174.0	80.6	▲93.4	排出量(a)-(b)	(t)	3.304	2.662	▲0.642
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	廃棄物排出量(a)	(t)	6.366	5.350	▲1.016
				リサイクル量(b)	(t)	3.062	2.688	▲0.374
3. 食品リサイクル率の向上※1	目標値設定なし	-	-	排出量(c)-(d)	(t)	3.738	2.483	▲1.255
				総排出量(c)	(t)	4.380	3.003	▲1.377
				リサイクル量(d)	(t)	※2 0.642	0.520	▲0.122
4. 節水による総排水量削減	171.000	226.349	55.349	総排水量	(m <sup>3</sup> )	6,355	7,477	1,122
5. eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	2名	0名	0%	6. スタッフ・お客様への啓発活動		・朝礼での周知及び各部署に啓発の表示を増加。 ・施設内のゴミ箱・蛇口等にご協力依頼の表示を増加。		
7. グリーン購入の実施	LED電球の使用促進: 施設内の85%をLED化。残りは随時、交換していく予定。 文具具: 昨年度に引き続きエコマークの付いたものを使用。その他は随時購入予定。							

※購入電力の二酸化炭素排出係数: 0.407(kg-CO<sub>2</sub>)/kWh(四国電力)

※1: 食品リサイクル率が手配不能のため、目標値は設定しておりません。

※2: 食品リサイクル量は、廃食油のみです。

### 【活動実績及びその評価】

昨年度と比べ来場者数が大幅に変更していない状況で、電気・ガス使用量は目標を達成できましたがCO<sub>2</sub>排出量と節水は目標を達成できませんでした。

達成できなかった項目を含め、すべての項目において活動内容を見直し、今まで以上にスタッフ全員の意識向上を目指しすべての目標を達成できるように活動していきます。

#### 《省エネルギー化推進によるCO<sub>2</sub>排出量削減活動について》

☆ 各部署に注意事項の掲示を増加し、光熱費を昨年度との比較でグラフ化するなどの活動を行った結果電気・ガス使用量を削減することができました。

☆ CO<sub>2</sub>排出量の目標が達成できなかった原因のひとつとして浴場の故障に伴い重油の使用量増加が考えられます。

#### 《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆ 2015年2月以降のレストランの数値を計上していない為、昨年度との比較は難しいですが、お客様へのご協力依頼及びスタッフへの啓発表示を増やしたこともあり可燃物・缶・瓶・ペットボトルの分別は出来ていたと思います。

☆ ダンボール・シュレッダー屑は回収業者に依頼してリサイクルしています。

#### 《食品リサイクル率の向上について》

☆ 2015年2月よりレストランは外部委託につき、2014年度の数値はすべて計上できていません。

#### 《節水による総排水量削減について》

☆ お客様が使用する蛇口や従業員専用の蛇口に啓発の表示を増やしました。

☆ 総排水量が増加した原因については、浴場の故障による水漏れ及び女性の浴場の清掃回数を増やしたことが考えられます。

#### 《スタッフ、お客様への啓発活動について》

☆ 同じ事業部内の方の協力を得て月々の光熱費を前年同月比でグラフ化して事務所内に掲示するようにしました。写真①

☆ 施設内の空調設備・電気スイッチや水道の蛇口に啓発表示を増やしました。写真②

#### 《グリーン購入の実施について》

☆ 引き続きエコマーク製品の使用・購入に務めました。

また、各所に設置している自動販売機をまだ数カ所ですが、ヒートポンプ式に交換しました。

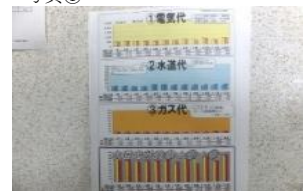
#### 【次年度の取組内容について】

☆ ごみの分別やペットボトルの蓋・プルタブの回収など年々お客様に協力して頂けるようになりましたが、さらに啓発活動を行い排出量の削減・リサイクル率の向上に努めます。写真③

☆ 浴場の故障の問題はありますが、お客様や従業員に今まで以上に節水意識を高めてもらうために啓発表示の増加または見直しを行い、総排水量の削減に努めます。

☆ CO<sub>2</sub>排出量削減のために電気・ガス使用量はさらなる削減を目指し、ガソリン・軽油・灯油・重油については使用量及び使用方法を見直します。

写真①



写真②



写真③



以上

環境目標項目	実績値評価 (原単位:利用者人数1人あたり)			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	環境目標項目	単位	④2013年度 (4月～3月)※2	⑤2014年度 (4月～3月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	-	0.817	-	CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	-	480,096	-
	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	電気使用量	(kWh)	-	793,471	-
				ガス使用量	(Kg)	-	25,290	-
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	-	7.9	-	排出量((a)-(b))	(t)	-	4.622	-
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	廃棄物排出量(a)	(t)	-	4.764	-
				リサイクル量(b)	(t)	-	0.142	-
3.食品リサイクル率の向上※1	-	22.57% (H27.1月～)	-	排出量((c)-(d))	(t)	-	1.771	-
				総排出量(c)	(t)	-	3.319	-
				リサイクル量(d)	(t)	-	1.818	-
4.節水による総排水量削減	-	10.285	-	総排水量	(m <sup>3</sup> )	-	6,043	-
	(ℓ)/人	(ℓ)/人	(ℓ)/人					
5.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	4名	0名	0%	6.スタッフ・お客様への啓発活動	・ゴミ箱の種別増大			
7.グリーン購入の実施	LED電球の使用促進:お客様スペースのLED化が終了 文房具:70千円の購入							

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO<sub>2</sub>)/kWh(四国電力) ※1:食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。  
 ※2:2014年3月より取組開始の為、昨年度との比較及び目標値設定はしていません。尚、食品リサイクルは、2015年1月より廃食用油のみ実施しております。

#### 【活動実績及びその評価】

昨年12月より廃棄物の計量を開始し、実績データの蓄積を開始しました。また、スタッフのエコアクションに対する知識がまったくない状況ですので、担当者の教育から始めました。設備的には改修工事による省エネ化がなされたので、今後は環境に対する取組を実行することや実績の可視化、掲示物等により、スタッフ全員の意識向上を図ります。

#### 《省エネルギー化推進によるCO<sub>2</sub>排出量削減活動について》

- ☆ 2014年6月より2015年3月まで行われた改修工事でお客様スペースの照明器具はすべてLED化されました。空調についても大半が入替され、エネルギー最適化システムが取り付けられました。
- ☆ 下り線は夏場にグリーンカーテンを実施し、空調使用量の削減とお客様に対する清涼感の演出を図りました。

#### 《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

- ☆ 12月より分別計量を開始しましたが、処分場ではほとんどの廃棄物が融解処理されており、種類別にリサイクルできるようにすることが課題です。

#### 《食品リサイクル率の向上について》

- ☆ リサイクル品目は廃油のみとなっており、徳島県内に厨芥ゴミのリサイクル業者がないため、脱水による減量しかできず今後、年間2%のリサイクル率向上は難しい状況です。

#### 《節水による総排水量削減について》

- ☆ 繁忙期の水使用量が、閑散期に比べ一人あたりの使用量が少ない状況が判明したので、閑散期の節水対策について今後取り組みます。

#### 《スタッフ、お客様への啓発活動について》

- ☆ 店舗内に分別ごみ箱を当初2種から4種(可燃、不燃、瓶・缶、ペットボトル)に変更し、分別に協力していただいています

#### 《グリーン購入の実施について》

- ☆ 発注担当者がグリーン適合商品の購入に努めています。

#### 【次年度の取組内容について】

- ☆ 廃棄物は他事業所の取り組みを参考にリサイクル品目の増大を図ります。(箸、ペットボトル、古紙)
- ☆ 従業員に対する教育を月1回実施するとともに、実績の見える化を図り、掲示物等により意識向上させます。



以上

環境目標項目	実績値評価 (原単位:利用者人数1人あたり)			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	環境目標項目	単位	④2013年度 (4月～3月)	⑤2014年度 (4月～3月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	5.021 (kg-CO <sub>2</sub> )/人	6.143 (kg-CO <sub>2</sub> )/人	1.122 (kg-CO <sub>2</sub> )/人	CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	1,258,590	1,174,565	▲84,025
				電気使用量	(kWh)	2,282,780	2,156,260	▲126,520
				ガス使用量	(m <sup>3</sup> )	135,738	122,764	▲12,974
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	152.0 (g)/人	133.7 (g)/人	▲18.3 (g)/人	排出量((a)-(b))	(t)	25.188	25.555	0.367
				廃棄物排出量(a)	(t)	39.217	38.448	▲0.769
				リサイクル量(b)	(t)	14.029	12.893	▲1.136
3.食品リサイクル率の向上※1	51.00%	81.17%	30.17%	排出量((c)-(d))	(t)	8.213	6.004	▲2.209
				総排出量(c)	(t)	33.142	31.878	▲1.264
				リサイクル量(d)	(t)	24.929	25.874	0.945
4.節水による総排水量削減	149.760 (ℓ)/人	155.805 (ℓ)/人	6.045 (ℓ)/人	総排水量	(m <sup>3</sup> )	32,463	29,789	▲2,674
5.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	2名	2名	100%	6.スタッフ・お客様への啓発活動	・月ごとの電力使用量等の掲示 ・館内にお客様へのご協力依頼掲示			
7.グリーン購入の実施	LED電球の使用促進:高負荷のものから149セット(うちLED電球106個再利用。) 文具具:購入可能なものから購入							

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO<sub>2</sub>)/kWh(四国電力)

※1:食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。

### 《活動実績及びその評価》

エネルギーに関しては、集中管理等の取り組みで電気、ガスともに削減できましたが、原単位管理では、わずかに未達でした今以上の取り組みが必要であります。一般廃棄物に関しては、昨年度の大幅な増加の原因は新たな衛生管理規定で衛生ゴミが増加していることが判明し、目標基準値の見直しをかけました。食品廃棄物はリサイクル率が向上し、総量も減少しましたが、新規スタッフへの教育ミーティングなどが行われていないケースもあり、後半評価の悪化につながりました。更なる教育、意識づけが必要であります。

排水量については総量および原単位管理ともにわずかではありますが目標達成できました。エコ検定の合格率は悪く、エコ意識の低下が懸念される。今以上に詳細な分析、教育を行い、今年度以上の結果を出せるようにしたい。

### 《省エネルギー化推進によるCO<sub>2</sub>排出量削減活動について》

☆ 昨年度の取り組みを踏襲しつつ、デマンド集中管理を利用し、ピークカットを実施。設営など施工以外の時間の節電を啓発。

☆ LED化推進、タイマー自動制御による照明点灯時間の調整。

### 《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆ シュレッダー、コピー用紙や段ボールを古紙回収業者に依頼し、リサイクルを実施。

### 《食品リサイクル率の向上について》

☆ 新規スタッフへの教育などが生き届いていないケースがあり、分別量に影響が出ました。

### 《節水による総排水量削減について》

☆ 昨年より導入の地下水処理システムの稼働状況が良好で市水利用が2, 3%である。共用部以外にも厨房などに節水弁を随時導入し流量の調整をしています。

### 《スタッフ、お客様への啓発活動について》

☆ 掲示物、部署ごとのミーティングで啓発を行っていますが、スタッフの入れ替わりも多く各部署での教育が生き届かないケースがありました

☆ お客様向けの啓発告知を増やし、意識づけを行っています。

### 《グリーン購入の実施について》

☆ 可能な限りコピー用紙から購入しました。

### 《次年度の取組内容について》

☆ エネルギー管理の見える化を推進し、スタッフ自己啓発につなげる。

☆ 引き続き照明設備の省電力化、空調機器のメンテナンスを充実させ効果的なエネルギー消費を目指します。

☆ 影響の少ないところで節水コマをより導入し、排水量の削減を実現します。

☆ 廃棄物に関しては、従業員や協力業者への協力を推進し、その記録を取るように徹底していきます。また、来期に向けて再度部署ごとの分別方法等のミーティングを実施し施設一丸となり活動を進めていきます。

以上

## 3-2.チサンイン高松

【運用期間:2014年4月～2015年3月】

環境目標項目	実績値評価 (原単位:利用者人数1人あたり)			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	環境目標項目	単位	④2013年度 (4月～3月)	⑤2014年度 (4月～3月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	9.965	9.190	▲0.77	CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	305,806	275,109	▲30,697
	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	電気使用量	(kWh)	393,622	365,033	▲28,589
				ガス使用量	(m <sup>3</sup> )	63,483	55,172	▲8,311
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	285.0	203.8	▲81.2	排出量((a)-(b))	(t)	6.299	6.103	▲0.196
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	廃棄物排出量(a)	(t)	10.351	10.039	▲0.312
				リサイクル量(b)	(t)	4.052	3.936	▲0.116
3.食品リサイクル率の向上※1	目標値設定なし	-	-	排出量((c)-(d))	(t)	0.347	0.651	0.304
				総排出量(c)	(t)	0.347	0.651	0.304
				リサイクル量(d)	(t)	-	-	-
4.節水による総排水量削減	389.004	523.216	134.212	総排水量	(m <sup>3</sup> )	15,593	15,663	70
5.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	2名	2名	100%	6.スタッフ・お客様への啓発活動	・			
7.グリーン購入の実施	文房具:グリーンマーク対象品を極力購入							

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO<sub>2</sub>)/kWh(四国電力)

※1:食品リサイクル率は、朝食のみ提供のため廃棄物が少なく設定していません。

### 【活動実績及びその評価】

冷温水発生機の新規導入によりCO<sub>2</sub>排出量が10%ダウン。しかし総排水量は施設配管からの水漏れ、排水効率の悪い旧式トイレ等の影響で前年とほぼ変わらず、また目標にも遠く及ばなかった。水回り設備の修繕・改修がチサンエコ活動での最重要課題と思われます。

#### 《省エネルギー化推進によるCO<sub>2</sub>排出量削減活動について》

- ☆ ロビーの照明を24時から6時30分まで必要最小限の物を残し消灯しています。
- ☆ ロビーの空調も上記時間帯で停止しています。
- ☆ 閑散日に販売する宿泊客室フロアを限定し、売り止めフロアは照明・エアコン全停止に努めています。
- ☆ 1階化粧室の照明を感知センサー式に交換し、必要時のみ点灯するように改善。

#### 《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

- ☆ シュレッダー・コピー用紙の廃棄を古紙回収専門業者に依頼しリサイクルしています。
- ☆ 廃棄物排出抑制及びリサイクルを目的に、納品業者様に梱包材(ダンボール等)の回収を依頼しています。
- ☆ プリンターカートリッジのリサイクル回収(100%回収)をしています。

#### 《食品リサイクル率の向上について》

当ホテルレストランは朝食専用にて使用しており、前日の予約にて利用者数を把握し、調理済みの食材使用や、利用者数に合わせた食材の仕入れを実施し食品廃棄物の発生を軽減するように努めています。毎日の廃棄物量が少なく、やむなく一般廃棄物として処理しております。

#### 《グリーン購入の実施について》

- ☆ 通常購入備品についてはエコマーク製品の購入に努めています。

#### 《スタッフ、お客様への啓発活動について》

- ☆ リネン類交換不要の意思を伝えるECOカードを全客室に設置、連泊のお客様への啓蒙を図っています
- ☆ チェックアウトタイムからチェックインタイムまでのロビー空調をオフ、もしくは適正温度を保つよう、スタッフに指導。

#### 【次年度の取組内容について】

- ☆ 更なるエコ活動の推進のためにスタッフ、お客様への啓発活動の推進。
- ☆ 照明器具のLED化促進等高効率機器への更新促進。
- ☆ 事務所など個別空調で温度調整が可能なプライベートエリアの温度管理の徹底。
- ☆ 施設管理課と相談しながら節水型トイレ備品の導入を進める。
- ☆ リネン類交換不要の意思を伝えるECOカードを全客室に設置、連泊のお客様への啓蒙を図っています。

### 3-3.ロイヤルパークホテル高松

【運用期間:2014年4月~2015年3月】

環境目標項目	実績値評価 (原単位:利用者人数1人あたり)			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	環境目標項目	単位	④2013年度 (4月~3月)	⑤2014年度 (4月~3月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	9.988	10.636	0.648	CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	525,201	534,328	9,127
	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	電気使用量	(kWh)	838,715	838,519	▲196
				ガス使用量	(m <sup>3</sup> )	80,157	84,171	4,014
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	157.0	233.7	76.7	排出量((a)-(b))	(t)	12.742	11.738	▲1.004
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	廃棄物排出量(a)	(t)	17.477	14.552	▲2.925
				リサイクル量(b)	(t)	4.735	2.814	▲1.921
3.食品リサイクル率の向上※1	53.00%	75.21%	22.21%	排出量((c)-(d))	(t)	0.976	1.791	0.815
				総排出量(c)	(t)	7.356	7.224	▲0.132
				リサイクル量(d)	(t)	6.380	5.433	▲0.947
4.節水による総排水量削減	258.241	269.647	11.406	総排水量	(m <sup>3</sup> )	13,541	13,546	5
5.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	4名	2名	50%	6.スタッフ・お客様への啓発活動	・館内各所の表示による御協力依頼の実施 ・朝礼等を利用したスタッフ間での情報の共有・働きかけ			
7.グリーン購入の実施	LED電球の使用促進:懐中電灯、電気スタンドなどすぐに変えられるものから使用を促進 文具:グリーンマーク対象品を極力購入							

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO<sub>2</sub>)/kWh(四国電力)

※1:食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。

#### 【活動実績及びその評価】

途中のエコアクション担当者の変更により体勢を整えるのに時間を要しましたが、館内の取り組み状況を把握し、対策を講じていく為にも毎月のデータ入力管理を徹底しました。ゴミ捨て時に正しい計量ができるように各ゴミ計量場所にゴミの捨て方の注意書きを設置し、館内の会議でも注意を促しました。

お客様に御協力いただき、客室の冷蔵庫の電気を必要な時のみ電気をONにしてもらうようにし、電気使用量の削減につなげました。目標には未達成に終わりましたが、引き続き毎月のデータを目標値と照らし合わせながら、エネルギーの削減とリサイクルの向上を図っていきます。また館内全体にエコアクション活動への関心、認識を深める為に、エコ検定の受検の促進、より活発な啓蒙活動を行っています。

#### 《省エネルギー化推進によるCO<sub>2</sub>排出量削減活動について》

- ☆ 宴会場照明は会場スタッフと細かく連絡を取り、点灯・消灯を行うことで節電に努めています
- ☆ 夜間24時から7時までは客室階以外の空調をストップしています。客室階においても季節、日毎に空調をこまめにコントロールし省エネに努めています
- ☆ 宴会、レストラン終了後、館内を巡回し、不要な場所に電気が点いていないかチェックを行っています
- ☆ ロビーの照明を24時から6時まで必要最小限のものを残し消灯しています
- ☆ 「ウォームビズ四国」(12/31~3/31)の取り組みに積極的に参加し、各個人が使っていない電灯の消灯、OA機器の節電、過剰暖房の抑制に努めました
- ☆ レストラン(錦)ではクローズタイム、閉店後の消灯を速やかに行い、調理場への行き来は極力階段を利用することを徹底しております

#### 《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

- ☆ 紙ごみをシュレッダーゴミと同様にリサイクルにまわせるよう、事務所に紙ごみ専用のゴミ箱を置いています。
- ☆ 文書の受け渡し、閲覧は極力電子回覧を行い、不要なコピーの削減に努めています。
- ☆ コピー用紙はフロントでまとめて購入し各部署の使用量を把握し、不要なコピー削減を呼びかけ、館内で共有できる印刷物については共有して印刷部数を減らすように努めています。
- ☆ レストラン(錦)では可燃ゴミを捨てる際に、ゴミ袋を満タンにしてから捨てるようにし、ビニール袋の削減に努めています

#### 《食品リサイクル率の向上について》

- ☆ 食材を無駄にしない様、在庫管理を徹底し食材を発注しています
- ☆ 前年に引き続き、宴会場、調理場で発生するごみの分別(生ゴミとそれ以外のゴミ)を徹底して行っています
- ☆ 食材が残った場合はまかない食として使用して食材の廃棄物の発生を防いでいます

#### 《節水による総排水量削減について》

- ☆ 各所への啓蒙表示
- ☆ 調理場では流水を使う解凍方法を止め、前もって食材を自然解凍するようにしています
- ☆ トイレの節水コマの排除(節水の為に取り付けていたが、結果長時間水を流してしまい逆効果だった為)

#### 《スタッフ、お客様への啓発活動について》

- ☆ スタッフ用エレベータ内にエコアクション関連の掲示板を作り、啓発活動を促進しています
- ☆ 客室の冷蔵庫の表示、エコカードにより御客様にもエコアクションの取り組みへのご理解をお願いしています。

#### 《グリーン購入の実施について》

- ☆ 通常購入品についてはエコマーク製品の購入に努めました

#### 【次年度の取組内容について】

- ☆ 館内のクーラーなどの電気設備の一斉清掃
- ☆ パート・バイトに至るまで館内スタッフ全体へのエコアクション活動についての啓蒙活動の推進
- ☆ 館内の照明器具のLEDへの変換を促進



以上

## 3-4. 琴平パークホテル

【運用期間: 2014年4月～2015年3月】

環境目標項目	実績値評価 (原単位: 利用者人数1人あたり)			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	環境目標項目	単位	④2013年度 (4月～3月)	⑤2014年度 (4月～3月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	7.921	7.406	▲0.515	CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	207,357	206,784	▲573
	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	電気使用量	(kWh)	351,407	344,357	▲7,050
				ガス使用量	(m <sup>3</sup> )	28,050	29,051	1,001
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	134.0	167.0	33.0	排出量((a)-(b))	(t)	3.738	4.095	0.357
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	廃棄物排出量(a)	(t)	5.492	6.194	0.702
				リサイクル量(b)	(t)	1.754	2.099	0.345
3.食品リサイクル率の向上※1	目標値設定なし	-	-	排出量((c)-(d))	(t)	0.720	0.575	▲0.145
				総排出量(c)	(t)	0.720	0.575	▲0.145
				リサイクル量(d)	(t)	-	-	-
4.節水による総排水量削減	325.000	354.100	29.100	総排水量	(m <sup>3</sup> )	7,186	9,888	2,702
5.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	4名	0名	0%	6.スタッフ・お客様への啓発活動		・連泊のお客様を対象にベットシート ・枕カバー交換不要の意思表示 ECO カードを全客室に設置(実績 1,035 室)		
7.グリーン購入の実施	LED 電球の使用促進: 客室1部電球を LED に変更中。 文房具: グリーンマーク対象品を極力購入							

※購入電力の二酸化炭素排出係数: 0.407(kg-CO<sub>2</sub>)/kWh(四国電力)

※1: 食品リサイクル率は、朝食のみの提供のため廃棄物が少なく設定していません。

### 【活動実績及びその評価】

運用期間において前年同時期と比較して3,077名の宿泊増加。利用人数増に伴いガス・廃棄物・総排水共に増加するものの、電気使用量に関しては前年度実績のみならず1人あたりの原単位目標もクリアできた結果。

今後は下記のこれらの活動を継続しつつ、お客様や従業員に更なる啓発活動を行ない、データを元に来年の活動に繋げていきたいと考えます。

#### 《省エネルギー化推進によるCO<sub>2</sub>排出量削減活動について》

☆ お客様が利用されないチェックアウト後の客室において照明・空調を消灯。(節電取り組み実績 4,894室/ 12ヶ月間) 消灯箇所のデータによると、消灯部屋の約3割～4割の客室においてユニットバスの電気がついたままという事もあり随時LEDに変更中。

☆ 館内ドリンク自動販売機を省エネタイプ(ヒートポンプ式)のものと交換しCO<sub>2</sub>排出量削減に努めています。

#### 《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆ シュレッダーゴミ廃棄を古紙回収専門業者に依頼しリサイクルしています。

☆ プリンターカートリッジのリサイクル回収(100%回収)をしています。

☆ 客室設置のティッシュケースを詰め替えに変更し削減に努める

#### 《食品リサイクル率の向上について》

☆ 食事提供は朝食のみなので、食品リサイクルへの取り組みは、食材に無駄が出ないように計画的に発注しております。

#### 《節水による総排水量削減について》

☆ リラックス効果のあるオイルが含まれた石鹸を全客室・浴場に導入。変更に伴いリンシンシャンプーをシャンプー・コンディショナーに変えたことで1人あたりの使用量が増加。

#### 《スタッフ、お客様への啓発活動について》

☆ フロントスタッフや清掃委託業者の目に付きやすい場所にエコ啓発のポスターを掲示し、節電依頼。その中で清掃委託業者が毎日使用する掃除機に関して省エネタイプを導入し、節電に協力。

☆ お客様がお土産を購入時にビニール袋の有無を確認し、不必要なゴミ排出量の削減に努めています。

#### 《グリーン購入の実施について》

☆ 通常購入備品についてはエコマーク製品の購入に努めました。

#### 【次年度の取組内容について】

☆ 更なるエコ活動の推進のためにスタッフ、お客様への啓発活動の推進。

☆ 照明器具のLED化促進等高効率機器への更新促進。

☆ 事務所など個別空調で温度調整が可能なプライベートエリアの温度を夏: 28度、冬 20度 に設定。

☆ ゲスト未使用時のレストラン・客室フロア空調・照明オフの啓発及び巡回による実施状態の確認と指導の徹底。

以上

# 3-5.リーガホテルゼスト高松

【運用期間:2014年4月～2015年3月】

環境目標項目	実績値評価 (原単位:利用者人数1人あたり)			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	環境目標項目	単位	④2013年度 (4月～3月)	⑤2014年度 (4月～3月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	5.655	5.474	▲0.181	CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	963,990	962,099	▲1,891
	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	電気使用量	(kWh)	1,703,659	1,639,865	▲63,794
				ガス使用量	(m <sup>3</sup> )	117,144	127,485	10,341
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減(食品廃棄物を除く)	178.0	111.7	▲66.3	排出量((a)-(b))	(t)	11.256	19.628	8.372
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	廃棄物排出量(a)	(t)	21.893	32.801	10.908
				リサイクル量(b)	(t)	10.637	13.173	2.536
3.食品リサイクル率の向上※1	64.70%	63.68%	▲1.02%	排出量((c)-(d))	(t)	12.090	12.123	0.033
				総排出量(c)	(t)	35.012	33.379	▲1.633
				リサイクル量(d)	(t)	22.922	21.256	▲1.666
4.節水による総排水量削減	127.065	121.927	▲5.138	総排水量	(m <sup>3</sup> )	22,102	21,430	▲672
5.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	4名	7名	175%	6.スタッフ・お客様への啓発活動	・エコ活動実績評価グラフを通路提示版に貼り、現状推移を見てもらう事による啓発活動			
7.グリーン購入の実施	文房具:グリーンマーク商品の購入を推進しています。今年度購入 621千円/前年度 507千円							

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO<sub>2</sub>)/kWh(四国電力)

※1:食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。

## 【活動実績及びその評価】

省エネルギー化推進によるCO<sub>2</sub>排出量と節水による総排水量の削減は目標達成できました。電気料金値上げもあり従業員の認識向上が窺え、毎日のこまめな照明及び空調のオンオフの取り組みがルーチン化してきた結果に繋がったと推測します。しかしながら、廃棄物排出量及びリサイクル率向上は、目標未達かつ対前年よりも増加となってしまいました。要因としては、対前年より利用人数が10,101人増加に伴い、排出量もリサイクル量も増加したが、リサイクル率は伸び悩んでしまった。また水道光熱削減がメインとなってしまい、廃棄物排出削減への取り組みが不十分となってしまったのが、今後の課題となりました。

## 《省エネルギー化推進によるCO<sub>2</sub>排出量削減活動について》

- ☆ アルゴ改装時にLEDに照明を変更。フロントバックの照明を節電タイプに変更。
- ☆ 分散して収蔵していた食材の集約化の継続で電力消費の大きい地下の大型冷蔵庫の運転の休止(9ヵ月間)
- ☆ 宴会場に関しては、お客様来館30分前に電気点灯と冷暖房機器のON。
- ☆ 衛生管理リスクも考慮した冬場の宴会場バックスペースの暖房使用時間の短縮。
- ☆ 更衣室の照明を感知式照明に変更

## 《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

- ☆ プリンターカートリッジのリサイクル回収の継続
- ☆ 料理の残り状況を調理と確認して、料理残量減少に繋がるメニュー構成に活用
- ☆ 食材端材を新商品として考案企画することによる廃棄物の削減

## 《食品リサイクル率の向上について》

- ☆ 廃食用油については委託業者に引き取り(委託業者の方による飼料へのリサイクル)

## 《節水による総排水量削減について》

- ☆ 客室節水型シャワーヘッドや感知式センサー蛇口等の主要な箇所の導入済みであり、残り調理場における活動で、流水での食材解凍は極力せず、自然解凍を実施。

## 【次年度の取組内容について】

- ☆ 前年度からの取り組みであるデマンド契約を、2014年10月より月560kwhから520kwhに変更。次年度も更なる削減を目標(520kwh→500kwh)とし、従業員節電意識を維持向上させます。
- ☆ エコ検定目標は達成しているが、今年度の受験合格率は非常に低かった。受験者数 25名/合格者 7名/合格率 28%という結果であり、次年度は受験合格率100%を目指します。
- ☆ 廃棄物について、排出量の抑制とリサイクルの推進を図っていきます。
- ☆ 環境関係緊急事態対応計画(消防訓練)4回/年を必ず実施する。次年度1回目 4月26日(日)予定。

以上



環境目標項目	実績値評価 (原単位:利用者人数1人あたり)			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	環境目標項目	単位	④2013年度 (4月～3月)	⑤2014年度 (4月～3月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	3.087	3.015	▲0.072	CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	219,939	211,607	▲8,332
	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	電気使用量	(kWh)	317,118	309,761	▲7,357
				ガス使用量	(m <sup>3</sup> )	38,949	37,293	▲1,656
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	目標設定なし (2015年度に設定予定)			排出量(a)-(b)	(t)	2,754	1,910	▲0.844
				廃棄物排出量(a)	(t)	4,136	4,305	0.169
				リサイクル量(b)	(t)	1,382	2,396	1.014
3.食品リサイクル率の向上※1	目標設定なし (食品リサイクル業者手配が困難なため)			排出量(c)-(d)	(t)	17,269	18,229	0.960
				総排出量(c)	(t)	17,759	18,419	0.660
				リサイクル量(d)	(t)	0,490	0,190	▲0.300
4.節水による総排水量削減	217,000	245,369	28,369	総排水量	(m <sup>3</sup> )	15,582	17,221	1,639
5.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	4名	0名	0%	6.スタッフ・お客様への啓発活動		・館内に節電、節水呼びかけの掲示。(テナントにも) ・消防訓練やミーティングの実施。		
7.グリーン購入の実施	LED電球の使用促進:随時変更を予定中。 文房具:グリーン購入調達状況報告書にて管理を開始。							

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO<sub>2</sub>)/kWh(四国電力)

※1:食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。

【活動実績及びその評価】

倉敷事業部としてテナントの豆吉、倉敷桃子にもエコ活動の呼びかけを行いました。  
館内各所に節電、節水のステッカーを掲示し、空調の温度設定にも気をつけました。  
避難訓練や各部署ミーティングの際、現場で出来るエコ活動について指導を行いました。

《省エネルギー化推進によるCO<sub>2</sub>排出量削減活動について》

- ☆ (旅館くらしき)LED電球への変更、こまめに不要な場所は電源オフにすることを実践しています。
- ☆ (倉敷珈琲館)館内の雰囲気を変えないように気をつけながら少しずつLED電球に変更して行く方針としました。  
バックヤードは勿論、館内も随時変更していく予定です。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

- ☆ (旅館くらしき)ゴミの分別は実践しているので、このまま継続します。
- ☆ (倉敷珈琲館)紙ごみ専用のゴミ箱を設置し分別を開始しました。昨年度までは、可燃と不燃の分別のみでしたが紙、ダンボール、その他、不燃に分別するように移行しました。

《食品リサイクル率の向上について》

- ☆ (旅館くらしき)調理場で食品の二次加工・三次加工に取り組んでおります。

《節水による総排水量削減について》

- ☆ (旅館くらしき)洗い場係りに溜め洗いの実施を促し、極力無駄が出ないように注意した。
- ☆ (倉敷珈琲館)バリスタが、珈琲を淹れる際に水を出したままにする癖があるので注意した。  
水道周り全てに節水のシールを貼り、食器洗浄の際に水を出したままにしないように従業員に指導した。

《スタッフ、お客様への啓発活動について》

- ☆ (旅館くらしき)スタッフへのゴミの分別の徹底、室内のエアコン温度の調整等、お客様に迷惑がかからない程度に実施を促した。
- ☆ (倉敷珈琲館)ミーティングを実施し、ごみの分別、エアコンの温度管理、節水節電について指導を行った。  
トイレに節水のシールを貼り協力を仰いだ。

《グリーン購入の実施について》

- ☆ (旅館くらしき)可能な限りエコマーク等が入っているものを購入しているが、まだ浸透はしていない。
- ☆ (倉敷珈琲館)購入している商品にエコマークやリサイクルマークが付いているか確認し付いていないものは随時変更しました。またグリーン購入調達状況報告書の記入を開始した。

【次年度の取組内容について】

- ☆ 倉敷事業部は、分別や省エネなどの基本的な取り組みが遅れていることを実感致しました。  
今期は新しい取り組みをするよりも基本を固める活動に注力するよう心がけました。  
次年度からは、基本を元にプラスαの活動を出来ればと考えております。
- ☆ 今期はエコ検定受験者無しだったため、社員、契約社員に受験を呼びかけてまいります。

以上

## 5-1.あなぶき家 庭瀬店

【運用期間:2014年4月～2015年3月】

環境目標項目	実績値評価 (原単位:利用者人数1人あたり)			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	環境目標項目	単位	④2013年度 (4月～3月)	⑤2014年度 (4月～3月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	1.184	1.198	0.014	CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	74,921	57,132	▲17,789
	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	電気使用量	(kWh)	84,959	70,445	▲14,514
				ガス使用量	(m <sup>3</sup> )	6,492	4,580	▲1,912
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	234.0	123.5	▲110.5	排出量((a)-(b))	(t)	1.08	5.889	4.809
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	廃棄物排出量(a)	(t)	2.015	6.321	4.306
				リサイクル量(b)	(t)	0.935	0.432	▲0.503
3.食品リサイクル率の向上※1	目標設定なし	21.01%	-	排出量((c)-(d))	(t)	10.000	4.529	▲5.471
				総排出量(c)	(t)	11.085	5.734	▲5.351
				リサイクル量(d)	(t)	1.085	1.205	0.120
4.節水による総排水量削減	31.000	31.630	0.630	総排水量	(m <sup>3</sup> )	1,935	1,508	▲427
5.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	該当者取得済			6.スタッフ・お客様への啓発活動	・厨房内、事務所等各所の表示による協力依頼の実施 ・スタッフへの勉強会の実施			
7.グリーン購入の実施	LED電球の使用促進:天井照明、トイレ、駐車場の外灯の照明等LED電球使用 文房具:グリーンマーク対商品を極力購入							

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO<sub>2</sub>)/kWh(四国電力) ※1:食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。  
※食品リサイクルの目標は、廃食用油のみリサイクルの為、設定していません。

### 【活動実績及びその評価】

営業時間短縮により概ね良好に運営できたと判断しています。今期データを基に、設定目標値の検証も実施し、来年の活動につなげて行きます。

#### 《省エネルギー化推進によるCO<sub>2</sub>排出量削減活動について》

☆ 事務所及び休憩室の不在時、消灯・エアコン停止に努めています。

☆ フライヤーの繁忙時以外は二分の一の稼働に努めています。

#### 《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆ プリンターカートリッジのリサイクル回収(100%回収)をしています。

☆ 廃棄物排出抑制及びリサイクルを目的に、納品業者様に梱包材(ダンボール等)の回収を依頼して行きます。

#### 《食品リサイクル率の向上について》

☆ 食材に無駄が出ないよう、在庫確認後多品種少量で発注しています。

☆ 産業廃棄物(廃食用油)のリサイクルに取り組んでいます。(※廃食用油は、BDFへとリサイクルされています。)

#### 《節水による総排水量削減について》

☆ 各所への啓発表示を実施しております。

☆ 水道の蛇口の開閉に注意をする。

#### 《スタッフ、お客様への啓発活動について》

☆ 各所への啓発表示を実施しております。

☆ 洗浄機の使用頻度の削減に努めております。

#### 《グリーン購入の実施について》

☆ 通常購入備品についてはエコマーク製品の購入を心がけています。

#### 【次年度の取組内容について】

☆ 従業員休憩室のプライベートエリアの温度を夏:28度、冬:20度に設定

☆ エコ活動の推進のためにスタッフ、お客様への啓発活動の推進

☆ フロア空調・照明オフの啓発及び巡回による実施状態の確認と指導の徹底。

以上

## 5-2.ストアマネジメント課

【運用期間:2014年4月～2015年3月】

環境目標項目	実績値評価 (原単位:利用者人数1人あたり)			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	環境目標項目	単位	④2013年度 (4月～3月)	⑤2014年度 (4月～3月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	0.282	0.166	▲0.116	CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	5,863	3,589	▲2,274
	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	電気使用量	(kWh)	14,407	8,818	▲5,589
				ガス使用量	(m <sup>3</sup> )			
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	目標設定なし	47.0	-	排出量((a)-(b))	(t)	0.147	1.016	0.869
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	廃棄物排出量(a)	(t)	0.147	1.016	0.869
				リサイクル量(b)	(t)	0	0	0
3.食品リサイクル率の向上※1				排出量((c)-(d))	(t)			
				総排出量(c)	(t)			
				リサイクル量(d)	(t)			
4.節水による総排水量削減	3.840	3.787	▲0.053	総排水量	(m <sup>3</sup> )	83	82	▲1
	(ℓ)/人	(ℓ)/人	(ℓ)/人					
5.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	名	名	%	6.スタッフ・お客様への啓発活動	・			
					・			
7.グリーン購入の実施	LED電球の使用促進: 文房具:							

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO<sub>2</sub>)/kWh(四国電力)

※1:食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。

### 【活動実績及びその評価】

2014年度ですが、電力に関して使用削減されており、廃棄物排出量に関しても昨年より減少しておりますので活動としては概できていたと思います。

(※カフェにて食材の取り扱いはありましたが、生ごみの発生はありません。)

(※ガスは設備が無いため、使用はありません。)

### 《省エネルギー化推進によるCO<sub>2</sub>排出量削減活動について》

☆ 空調機の運転、照明の点灯に関して、アイドルタイムの使用を控え、その他必要最低限の使用に努めました。

☆ 空調機のフィルター清掃を忘れず定期的に行うようチェックシートを作成し、常時、目詰まり等の過剰な電力使用を抑制致しました。

### 《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

☆ 商品購入時にレジ袋(お土産用)が個別に必要なかを確認し、過剰包装を抑制致しました。

☆ 回収可能なダンボール等は、業者の方に持ち帰って頂くよう、協力依頼致しました。

### 《節水による総排水量削減について》

☆ 蛇口への啓発表示を実地しております。

### 《スタッフ、お客様への啓発活動について》

☆ お客様もご利用される店内トイレの電気のスイッチに節電POPを追加致しました。

☆ 少人数のスタッフで運営していることもあり、推進している活動に関しては全員で行っていました。

### 《グリーン購入の実施について》

☆ 通常購入備品についてはエコマーク製品の購入に努めました。

### 【次年度の取組内容について】

☆ 店内照明器具を随時LED照明に変更して参ります。

☆ レジ袋、その他包装資材の料金を表示し無駄使い防止を啓発致します。

☆ エコ活動全般に関してスタッフから意見や提案を仰ぎ、現場サイドでできる事を随時取り入れていきたい。

以上

環境目標項目	実績値評価 (原単位:利用者人数1人あたり)			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	環境目標項目	単位	④2013年度 (4月～3月)	⑤2014年度 (4月～3月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )			
				電気使用量	(kWh)			
				ガス使用量	(m <sup>3</sup> )			
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	(g)/人	(g)/人	(g)/人	排出量((a)-(b))	(t)	0.416	3.756	
				廃棄物排出量(a)	(t)	0.416	3.756	
				リサイクル量(b)	(t)	-	-	-
3.食品リサイクル率の向上※1	%	%	%	排出量((c)-(d))	(t)	33.623	51.452	17.829
				総排出量(c)	(t)	33.623	51.452	17.829
				リサイクル量(d)	(t)	-	-	-
4.節水による総排水量削減	(ℓ)/人	(ℓ)/人	(ℓ)/人	総排水量	(m <sup>3</sup> )			
5.eco 検定合格(受験)による環境意識の向上	該当者なし			6.スタッフ・お客様への啓発活動	・施設内厨房の各所にエコ啓発掲示物を掲示			
7.グリーン購入の実施	LED電球の使用促進:使用なし(メディカル管轄) 文房具:購入なし							

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO<sub>2</sub>)/kWh(四国電力)

※1:食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。

### 【活動実績及びその評価】

今期は、施設ごとに排出量を把握することができました。開業した施設もエコ意識を持つことができ、今期のデータを基に来期は、更に良い結果が出せるように努めてまいります。

#### 《省エネルギー化推進によるCO<sub>2</sub>排出量削減活動について》

- ☆ 各所への啓発表示を実施しております。
- ☆ 作業時間のクローズタイムは、厨房内の照明を消灯しております。

#### 《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

- ☆ 梱包材(ダンボール等)の回収をしてリサイクルに努めております。
- ☆ 詰め替え可能容器の購入に努めております。

#### 《食品リサイクル率の向上について》

- ☆ 調理方法の工夫により、食材の有効利用を行い、食品廃棄物の削減に努めております。

#### 《節水による総排水量削減について》

- ☆ 各所への啓発表示を実施しております。

#### 《スタッフ、お客様への啓発活動について》

- ☆ フロアスタッフとの連携をとりながら、個々のお客様の食事量を把握し提供できるように努めております。

#### 《グリーン購入の実施について》

- ☆ 対象の商品を購入する機会は少ないが、常にエコマーク商品は意識しております。

#### 【次年度の取組内容について】

- ☆ エコ検定合格(受験)による環境意識の向上
- ☆ スタッフ不在時の空調・照明オフの啓発、指導の徹底。

AL博多南

AL長崎諏訪の社

AL高松駅前

AL松山本町



以上

環境目標項目	実績値評価 (原単位:利用者人数1人あたり)			昨年度との実績値比較				
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	環境目標項目	単位	④2013年度 (4月～3月)	⑤2014年度 (4月～3月)	⑥昨年比増減 (⑤-④)
1.省エネルギー化推進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	2.150	1.129	▲1.021	CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	947	4,562	3,615
	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	(kg-CO <sub>2</sub> )/人	電気使用量	(kWh)	-	9,683	9,683
				ガス使用量	(m <sup>3</sup> )	-	-	-
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減(食品廃棄物を除く)	162.0	118.8	▲43.2	排出量((a)-(b))	(t)	0.482	0.480	▲0.002
	(g)/人	(g)/人	(g)/人	廃棄物排出量(a)	(t)	0.779	0.945	0.166
				リサイクル量(b)	(t)	0.297	0.465	0.168
3.食品リサイクル率の向上※1				排出量((c)-(d))	(t)			
				総排出量(c)	(t)			
				リサイクル量(d)	(t)			
4.節水による総排水量削減	-	-	-	総排水量	(m <sup>3</sup> )	-	-	-
	(ℓ)/人	(ℓ)/人	(ℓ)/人					
5.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	3名	3名	100%	6.スタッフ・お客様への啓発活動		・朝礼時の周知・啓発 ・部署ミーティングでの周知・啓発		
7.グリーン購入の実施	文房具:グリーンマーク対象製品の購入を推進しています。							

※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg-CO<sub>2</sub>)/kWh(四国電力) ※1:食品は取り扱っておりません。

【活動実績及びその評価】

- ☆ エコ検定の合格者数は目標に対して100%という結果となりました。(受験者数4名、合格者数3名:合格率75%)
- ☆ 地方自治体の取り組みには積極的に参加しました。
  - ・高松市ダウンライト(2014.8)
  - ・高松グリーンデー(2014.10)
  - ・高松市主催 中央通り清掃(2014.10月～)
  - ・香川県シェイクアウト(2014.11) 等

《省エネルギー化推進によるCO<sub>2</sub>排出量削減活動について》

昨年7月に「あなぶきセントラルビル」へと引っ越ししました。但し、このビルは空調管理が集中部分・個別部分に分かれており、集中管理については活動に制限が出ているのが現状です。

一方の個別管理に関しては、適切及び推奨される温度設定の徹底・こまめな換気での温度調節といった取り組みを中心に行い、排出量削減に努めています。

昨年度実績との比較に関しては、引っ越し前の「あなぶき観光通りビル」は1フロアをグループ各社が共同使用していた関係もあり、昨年実績が不明なことから出来ない状況となっております。

《分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について》

- ☆ 事務所勤務者の増加に伴って廃棄物排出量も増加しましたが、リサイクル推進によって実績値評価においては目標値達成。
- ☆ 紙ごみ(シュレッダー・新聞紙・段ボール等)の回収先はあなぶきパートナーであるため再生率は100%。

《グリーン購入の実施について》

- ☆ 通常購入の物品については、エコマーク製品の購入に努めました。

【次年度の取組内容について】

- ☆ エコ検定の合格率は、継続して100%を目指します。
- ☆ 物品購入の際は優先的にエコマーク製品を購入します。
- ☆ 個別管理ができる「廃棄物排出量」「コピー用紙」については継続してリデュースに注力します。
- ☆ 管理部が主に使用する社有車が一般的な耐用年数を大きく超えており、環境配慮も弱いことから、入替を検討します。
- ☆ 地方自治体の取り組みには積極的に参加します。

以上





エコ活動レポートは当社の公式ホームページでも公開いたします。下記 URL よりご覧ください。

<http://www.anabuki-enter.jp/>

発行日:2015 年 6 月 1 日